

令和 8 年度第 1 回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時

令和 8 年 6 月 2 4 日（水） 午後 2 時 0 0 分～ 3 時 1 5 分

会 場

青梅市役所 3 階教育委員会会議室

出席者

（委 員）

馬場委員、沖川委員、保坂委員、久保田委員、西村委員、
三戸委員、須崎委員、高久委員

（事務局）

橋本教育長、布田生涯学習部長、原島文化課長、南條郷土博物館
管理係長、高野郷土博物館管理係主任

欠席者

（委 員）

山本委員、守田委員

開会（事務局）

1 委嘱状の交付

教育長より各委員に対し委嘱状を交付

2 あいさつ

3 正副会長の選任および部会長・部員の指名

会長 馬場委員

副会長 山本委員

第 1 部会 山本委員（部会長）、沖川委員、保坂委員、守田委員

第 2 部会 馬場委員（部会長）、西村委員、高久委員

第 3 部会 久保田委員（部会長）、三戸委員、須崎委員

4 報告事項

(1) 令和7年度事業報告について

事務局から、令和7年度における郷土博物館、文化財管理、文化財調査保護、埋蔵文化財調査保護、指定文化財保存修理補助および吉川英治記念館の各種事業について説明。

質疑・応答・意見

【委員】文化財住宅について、入館者数が表示されているが、前年度比の傾向はどうか

【事務局】文化財住宅の前年度の入館者数は、旧宮崎家住宅 9,763 人、旧吉野家住宅 2,238 人、旧稲葉家住宅 1,843 人となっている。旧宮崎家住宅は博物館休館の影響もあり、前年度比で 1,218 人減少しているが、旧吉野家住宅および旧稲葉家住宅ともに、微増の状況である

【委員】文化財住宅は若干の増減があるということだが、吉川英治記念館は 8,012 人から 6,700 人とだいぶ減少しているので、今年度は前年度比を基にした分析が必要になってくると思う。入館者数は、その事業に対する全ての評価だとは思わないが、多くの市民の方々に入館してもらえたかどうかというのは一つの指標にはなると思うので、意識したほうがよい。

【委員】熊の出没の影響もあったのではないか。

【委員】郷土誌フェアでの売上げの前年度比はどうか。

【事務局】令和7年度は「青梅鉄道資料報告書」を発行した関係で、参加した自治体の中のトップで、99,050 円の売上があった。令和6年度は 50,900 円だったので、ほぼ倍近くになった。

【委員】前年度比を表示できるところは表示してほしい。

【事務局】承知した。

【委員】鈴法寺跡歴代住職墓覆屋の修繕について、どのような工事をしたのか知りたい。

【事務局】歴代住職墓覆屋と西側樹木との間隔をとる部分を修繕範囲とし、隣接する樹木を傷つけないように、覆屋の補修を行った。

(2) 令和 8 年度事業計画について

事務局から、令和 8 年度における事業計画について主な事業のみ説明。

【委員】文化財保護指導員会の活動報告書を拝見していると、興味深いフィールドワークもあり、私も参加してみたい。そこで、今年度の指導員会の活動予定を伺いたい。いずれは指導員との連携の機会があるとよい。

【事務局】指導員会で相談したい。

【委員】「吉野家住宅」活用性の検討と実施について伺いたい。

【事務局】例年やってるものとは別に、「旧吉野家住宅保存活用計画」に基づき、進めていきたいと考えている。

(3) 指定文化財の現状変更等について

事務局から、市指定史跡「武蔵御嶽神社」の現状変更や、市指定有形文化財「御嶽菅笠道中記版木」の所在場所変更、市指定有形文化財「弥生式土器」の所有者変更、都指定史跡「安楽寺境域」滅失・き損について説明。

質疑・応答・意見

【委員】令和 8 年度事業計画の指定文化文化財修理事業と現状変更はリンクしているのか。

【事務局】している。

【委員】史跡を変える現状変更は大きな行為である。基本的には補助金を出すということは現状変更を認めていることになる。つまり修理事業を実施することに対して、史跡関係者の意見を伺っているのか。

【委員】武蔵御嶽神社の隨身門前、本殿脇の石積み修理はどちらかというと史跡ということになるので、第 3 部会の委員のご意見はいかがか。

【委員】素材など新しいものに変えたりすることはないと思うが、なるべくかつての雰囲気を保つような方向でお願いしたい。

【委員】石段などにしても安全性が前に出てしまうと、今風に安全を図らなければならないので、難しい点もある。

【委員】そのあたりを留意しながら行っていただきたい。

【事務局】承知した。

【委員】所有者変更について、青梅市へ寄贈されたという弥生式土器は、誰から寄贈されたのか。

【事務局】個人である。

【委員】理由があるのか。

【事務局】所有者の希望によるものである。

(4) その他

事務局から、令和８年６月定例議会について報告。

令和８年６月定例議会において、「文化財」に関する一般質問があり、文化財の周知や利活用、埋蔵文化財および伝統文化の継承等について質問をいただいた。

教育長からは、市内施設等を活用した文化財の展示、発掘場所の見学会、郷土芸能のＰＲ等について検討していきたいといった趣旨の答弁を行った。

今後、市議会だよりに掲載され、市民の皆様もご覧になるので、この場をお借りして情報提供させていただく。

5 次回の開催について

【事務局】１０月から１１月頃を予定している。

6 その他

質疑・応答・意見

【委員】地方史研究協議会飯能大会の情報共有および発信をお願いしたい。

【事務局】飯能大会については、関連例会を８月２日に青梅市で開催する。当日は、Ｓ＆Ｄたまぐーセンターにて青梅市文化財保護指導員の黒田委員に報告をいただき、例会終了後に会場周辺の史跡見学を行う予定である。飯能大会および関連例会については、青梅市教育委員会が後援をすることになっている。

【委員】審議会はいろいろな形でいろいろなところで繋がっているの

で、情報共有をしたり連携したりすることができれば、青梅市の文化財の振興に役立つという観点から発言させてもらった。

【委員】本日もさまざまな意見が出ていたが、次回の会議時にその結果を教えていただきたい。

また、前回の会議で、「市指定文化財の有形文化財について、種別がわかるような分野別一覧表を作成してはどうか」や、博物館の問題などについての意見も出ているので、こちらも併せて説明していただきたい。

閉会（事務局）